

幼きイエス会(ニコラ・バレ)



幼きイエス会では、2019年の管区総会での話し合いを受けて、①「生涯養成」、②「共に暮らす家・地球を大切に(ラウダート・シ)」、③「難民・移住者・困難を抱えた人々と共に」という三つの優先課題を「部門」として定め、会員は自分が希望するいずれかの部門に所属して活動することになりました。

ちょうどコロナ禍の始まりと重なって、活動が大幅に制限される中で、せめて情報の共有で意識喚起をと、部門②のチームが始めたのが、「ラウダート・シ通信」の発行でした。内容は、水、土、ゴミ、地球温暖化から戦争についてまで、「共に暮らす家・地球を大切に」するためのあらゆる事柄に及び、フランシスコ教皇や聖書の言葉もはさみつつ、すべての命を守り、すべての命と共に生きるために、私たちが意識すべきことを、毎回熱く伝えてくれました。

その後、2022年の管区集会で三部門の活動の見直しがなされ、いったん三部門は解散して、その後の動き方については改めて検討しようということになりました。しかし、部門②のメンバーのうちの二人が、好評だった「ラウダート・シ通信」を任意で継続してくれることになり、その後もだいたいひと月に一回の頻度で、発行が続いています。最新号である29号のテーマは食料自給率、その前の28号では、昨年12月にカナダで開かれた生物多様性条約締約国会議についての報告がトピックでした。

終わりのない環境との取り組みを、日々の生活の中で実践していくために、定期的に忠実に届くこの小さなニュースレターは、とても良い刺激になっています。私たちひとりひとりが、これからも、さまざまな方法で互いに励まし合いながら、うまずたゆまず諦めずに「世界を貪るのではなく、守るために、汚染や破壊ではなく、美の種を蒔くために」(教皇フランシスコ「わたしたちの地球のための祈り」より)歩んで行くことが出来ればと願っています。

